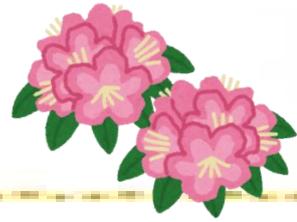


しゃくなげ

学校の教育目標 志をもち 仲間とともに創りだす生徒



新しい学校づくり ～宿泊研修の取組を通して～

校長 福井敏彦

「新しい学校を一から創るチャンスをいただいた。」

開校式で生徒代表大前柑太さんが語ったこの一言は、主体性あふれる言葉として、可茂地区の校長会で大いに話題になりました。その言葉通り、多様な場で私たちに「これが新しい学校の姿だ」と示してくれています。その一つが宿泊研修の取組です。

ワクワクを自分で育む(自律)

1年生日間賀島研修(海)、2年生乗鞍研修(山)、3年生修学旅行(首都)、行先に合わせ活動計画をたてたり、見通しをもったりしながら取り組んでいます。

宿泊を伴う非日常体験は、それ自体ワクワクする体験活動です。さらに行先の情報を調べたり、活動内容を自分たちで工夫したりすることで、ワクワクを自分で育てています。

3年生では、最低限必要な全体行動以外は、すべて生徒の企画で動く日程になっています。事前の情報収集によって、当日に体感する日本の首都東京への気付きもより深まることでしょう。

ワクワクを自分で育む研修は、新しい学校で目指す自律の姿です。

よさを認め合う(協働)

1年生日間賀島研修では予定時刻よりも1時間ほど早く帰校しました。早すぎてご迷惑をおかけした保護者の皆さんにはお詫びします。昨年度同様の計画だったのですが、活動・集合時間が想定を上回る早さだったため、予定よりも早くなってしまったようです。

昨年度も日間賀島研修を引率した1年生担任は「昨年度は研修の中で2校の集団が1つの学級にまとまっていく成長を感じましたが、今年度はまとまりがある上での研修だったことを実感しました。」と話していました。お互いのよさを認め合い尊重し合う日常の営みが発揮されたのです。

行事で日常の力を発揮する研修は、新しい学校で目指す協働の姿です。

まずやってみる(挑戦)

普段体験することのできない場所で、その場所ならではの活動を仕組んでいます。どの学年にも「やった方がいいなと感じたらぜひやってみましょう。やらなければ得られないものがあります。」と声をかけています。

当然失敗はあります。その時こそ成長のチャンス。そしてチャンスを生かして成長できる人は仲間の失敗にもやさしくなれます。

仲間の失敗に寛容になれる研修は、新しい学校で目指す挑戦の姿です。

今年度の研修の形をもととして、来年度の研修のあり方を議論する予定です。生徒の実態をふまえ、目的を明確にして改善し続ける姿勢は、新しい学校で大切にしている職員集団の姿です。

生徒の成長を励みに頑張ります。